

エコドライブを題材とした環境教育教材の作成

～自動車教習所での利用を中心として～

1516 曾我遼吾
指導教官 市川智史

研究目的

自動車からの環境負荷の低減に向けて運転者（免許取得予定者）を対象とした環境教育教材を作成する。

研究方法

エコドライブの方法・効果の例の調査 コンビニエンスストアにおけるアイドリングの実態調査 アンケート調査による教材の方向性の模索 エコドライブの実践に効果的な教材の作成

エコドライブ

本研究では自動車の運転者や保有者が行い得るものを包括的にエコドライブと捉え、その方法と効果を探り、教材として有効的であると思われるものを選定した。

アイドリング実態調査

アイドリングストップはエコドライブの中でも注目度が高く、その効果も高い。しかし、様々な所でアイドリングストップを啓発するものが見受けられるものの、運転者の実施度はまだまだである。そこで、コンビニエンスストアの駐車場に停める車の中で、どの程度の割合の車がアイドリング状態にあるのかを調査した。

エコドライブに関する意識調査

運転者がどのようなエコドライブならば実践しやすいか、どのような方向性で示せば理解しやすいのかを把握した上で教材を作成するために、エコドライブに対する個人的取り組みに対して、運転者はどのような意識を持っているのか、アンケート調査を行った。

教材の作成

上記の調査結果を踏まえ、自動車教習所や運転免許更新時に使用されることを目途とした教材を作成した。分量はA4用紙4ページで以下の方針に基づき作成した。運転者が興味を持ち、実践しやすいものを提示する。アイドリング実態調査の結果を取り入れる。アイドリングストップ、適切な加速・発進を主とする。燃費改善を取り上げる。

大気汚染問題に言及する。

